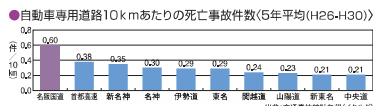


## 交通事故の抑制へ向け

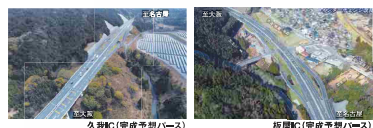
名阪国道の10kmあたりの死亡事故発生件数は、全国の自動車専用道路でワーストです。交通事故は、インターチェンジ周辺、山間部でカーブの多い間トンネルへ加太トンネル周辺で多く発生しています。



## 交通安全対策(ハード)

### インターチェンジの改良

道路構造令の現行基準に対応するため、インターチェンジの改良等を進めています。



### カラー舗装による安全対策

ドライバーへの更なる注意喚起を図るため、赤色のカラー舗装を実施しています。



### 逆走防止対策

重大事故につながる逆走防止対策を全てのインターチェンジで実施しています。



## 交通安全対策(ソフト)

インターチェンジ変速車線と本線の合流部での注意喚起として、合流車情報板の設置等を進めています。その他、事故抑制のための注意喚起の看板設置等を進めています。また、道路利用者へ国道25号名阪国道を安全に走行して頂くために名阪国道セーフティマップを作成し、配布していきます。



## 道路照明施設のLED化

2011年に発生した東日本大震災を境に、省エネ化、維持費の削減等、ローコストとなるLED照明への切り替えを進めています。



## 長寿命化・耐震対策

名阪国道は、昭和40年の開通後、50年以上が経過しています。また交通量は飛躍的に伸び、大型車も多いため、舗装はひび割れやポットホール(穴ぼこ)等が発生し、橋梁・トンネルにおいても老朽化が進んでいます。そのため、老朽化した名阪国道の長寿命化に向けて、維持補修を実施しています。また、橋梁の耐震対策などにより災害に強い安心な道路づくりを推進しています。



## 橋梁耐震対策

阪神大震災などの教訓を踏まえ、橋梁の橋脚耐震や落橋防止などの耐震対策を実施しています。



## 路面段差対策

巨大地震により、橋梁などの背面に段差が発生し、交通に支障がおきないように、路掛版やプレキャスト版を設置する段差対策を実施しています。

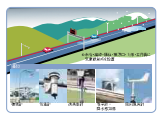


## 道路の安全性・信頼性の確保

快適なドライブをサポートするために、道路情報サービスも充実しています。

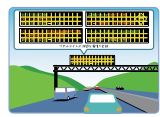
### 気象観測システム(雪害対策支援凍結予測システム)

全線の路側に設置した各種気象センサーにより、著しい冬期の気象変化を監視し、迅速な対応を行うとともに気象の影響による路面変化をドライバーへすく提供します。



### 道路情報板高度化システム

道路、気象、路面状況、SAの駐車場、警察など、事務所が収集される様々な情報を、道路情報板でリアルタイムに提供し、ドライバーの安全で安心できる走行を支援します。



### CCTV(道路監視用カメラ)

24時間体制で道路監視用カメラ(CCTV: Closed Circuit TeleVision)による道路状況(路面状態やトンネル、橋梁等の重要構造物)の監視を行っています。



### ETC2.0(ITSスポット)

ETC2.0では、通信アンテナ[ITSスポット]とETC2.0対応車載器、カーナビが、高速大容量のDSRC通信方式によって双方通信を行っています。収集した数多くの車両の走行履歴情報をフルに活用し、道路情報や安全運転支援情報支援など、高度で多彩なサービスが提供されます。

### トラフィックカウンター

設置地点において通過する車両数を自動的に計測するための観測機器であり、計測されたデータは、道路の計画、建設、維持修繕その他の管理等に活用しています。



### 安全で快適な走行の確保

道路を常時良好な状況に保つため、道路パトロールを実施し、傷んだ箇所の修繕や構造物の補修、清掃、除草、また、照明灯などの安全施設の点検・修理を行っています。さらに、災害箇所の復旧、冬期の路面凍結防止剤の散布や除雪など、道路の管理に努めています。



### 事前通行規制

事前通行規制とは、大雨などの異常気象時に、事前に設定した基準の雨量に達した段階で通行規制を実施し、法面崩落などの災害にともなう事故を未然に防ぐため、道路の通行を一時的に規制する区間をあらかじめ定めたものです。名阪国道においては、関IC～伊賀ICの14.1kmで連続雨量200mm、五月橋IC～天理東ICの29.6kmで連続雨量160mmを超える通行止めを行い、最近では平成25年度、26年度、令和元年度に各1回ずつ、平成29年度に2回行っています。

### 消積雪設備

標高が高く急勾配のトンネル付近で発生しやすいスタック車両の対策として、路面の雪を堆水で溶かす消積雪設備を設置しています。



国土交通省 北勢国道事務所 〔四日市庁舎〕〒510-8013 三重県四日市市南富田4丁目6番4号 Tel.059-363-6511(代)  
中部地方整備局 〔亀山庁舎/管理棟〕〒519-0165 三重県亀山市野村4丁目3番25号 Tel.0595-82-1312  
https://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/

国土交通省 奈良国道事務所 〒630-8115 奈良県奈良市大宮町3丁目5番11号 Tel.0742-33-1391(代)  
近畿地方整備局 〔奈良庁舎〕https://www.kkr.mlit.go.jp/nara/

道路施設の損傷、路面の汚れ(油・土砂)、路面の穴ぼこ、落下物など。  
道路の異状を発見したらご一報ください。  
緊急通報 **#9910**へ



## 中部圏と関西圏を結ぶ大動脈

# E25 名阪国道

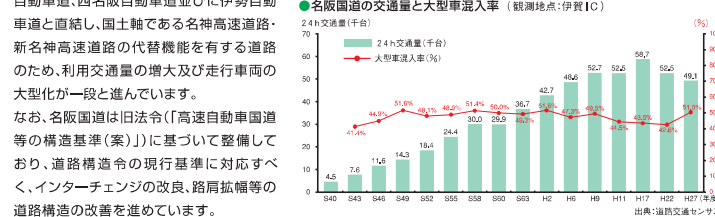
より安全で円滑な道路をめざします

国土交通省中部地方整備局  
北勢国道事務所

国土交通省近畿地方整備局  
奈良国道事務所

## 中部圏と関西圏を結ぶ大動脈

国道25号名阪国道は、三重県亀山市太岡寺町から奈良県天理市樺本町までを結ぶ延長73.2kmの一般国道です。自動車専用道路として、昭和40年12月に暫定2車線で開通し、供用開始まで1000日という目標が示されたことから「千日道路」という異名を授けられました。その後、昭和55年3月に全線4車線で完成しています。また、高速道路の東名阪自動車道、西名阪自動車道並びに伊勢自動車道と直結し、国土軸である名神高速道路・新名神高速道路の代替機能を有する道路のため、利用交通量の増大及び走行車両の大型化が一段と進んでいます。



## 概要

名阪国道は、全線立体交差構造となっており、インターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)から出入りする自動車専用道路です。中部圏と関西圏を結ぶ物流の大動脈であると同時に、29のインターチェンジ(IC)があり、地域の生活道路でもあるという2つの異なる特徴をあわせもっています。

## 走行

- 1.インターチェンジ・ジャンクション以外での出入はできません。
- 2.自動車の規制速度は、特に標示のない限り60km/hです。
- 3.歩行者、自転車(軽車両)、原動機付自転車(125cc以下)の通行は、禁止されています。
- 4.自動車の駐車、停車、転回、後退、横断は原則として禁止されています。
- 5.車が故障したときは、非常駐車帯を利用し非常電話をおかけください。
- 6.地形上、局所的に濃霧の発生等気象変化の激しい場所があります。走行には十分注意してください。

## あゆみ

昭和38年 亀山～天理間 工事着手  
昭和40年 全線(三重・奈良)暫定2車線開通  
昭和52年 奈良県区間 全線4車線化  
昭和55年 三重県区間 全線4車線化  
昭和59年 道路情報ラジオ放送開始  
平成13年 道の駅(針T・R・S)開設  
平成17年 道の駅(い)開設  
平成27年 名阪国道開通50周年



|          | 路線名           | 延長      | 起点         | 終点        | 設計基準           | 設計速度             | 最小曲半径 | 最急坂割合 |
|----------|---------------|---------|------------|-----------|----------------|------------------|-------|-------|
| 北勢国道管理区間 | 一般国道25号(名阪国道) | 56.2 km | 三重県亀山市太岡寺町 | 奈良県奈良市針本町 | 1種 3級          | 70km/h<br>60km/h | 200 m | 6%    |
| 奈良国道管理区間 | 一般国道25号(名阪国道) | 17.0 km | 奈良県奈良市針本町  | 奈良県天理市樺本町 | 1種 3級<br>1種 4級 | 70km/h<br>60km/h | 150 m | 6%    |
| 全線       | 一般国道25号(名阪国道) | 73.2 km | 三重県亀山市太岡寺町 | 奈良県天理市樺本町 | 1種 3級<br>1種 4級 | 70km/h<br>60km/h | 150 m | 6%    |



